

第 2 回総合計画等推進市民委員会 事前質問・意見一覧表

事前に送付した会議資料（地方創生関係交付金を活用した事業）に対し、以下のとおり質問や意見が寄せられておりますので、回答と併せ、報告いたします。

I. 寄せられた質問及び意見の件数（総括表）

資料名等	質問数	意見数	掲載ページ
1. 資料 1 地方創生関係交付金について	0	0	P.2
2. 資料 2 地方創生関係交付金 事業シート全般について	0	0	P.2
(No.1) 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼働力強化事業について	3	0	P.2～3
(No.2) 八戸スポーツビジネス創生事業について	0	1	P.4
(No.3) 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業について	0	0	P.4
(No.4) はちのへ空き家再生事業について	0	1	P.4
(No.5) はちのへマチナカ活性化プロジェクトについて	2	0	P.5
(No.6) 八戸AIデータワーク推進事業について	0	1	P.6
(No.7) 蕪島エントランス整備事業について	1	0	P.6
(No.8) 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業について	0	1	P.7
(No.9) 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興について	1	1	P.8
計	7	5	-

（次ページ以降に具体的な質問や意見の内容を掲載）

II. 具体的な内容

1. 資料1 地方創生関係交付金について

●質問

質問なし

●意見

意見なし

2. 資料2 地方創生関係交付金 事業シート全般について

●質問

質問なし

●意見

意見なし

【各事業について】

○No.1 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業について

●質問

No.	内容	
1	質問	<p>【掲載箇所】3ページ</p> <p>○ 八戸都市圏スクラム8のLINE運営について教えてください。</p>
	回答	<p>【担当課】広報統計課</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年12月から、LINEアカウント「八戸圏域スクラム8」を運用し、圏域の旬の食やイベントなどの地域情報、首都圏の物産イベントや8baseの情報を提供しています。 首都圏で開催される圏域出身者や関係者の会合や首都圏の飲食店において、PR資材を設置して登録者を募るほか、八戸圏域の高校・大学・専門学校の卒業生へのポストカードの配付や成人式の次第に広告として掲載する登録を促しています。
2	質問	<p>【掲載箇所】3～4ページ</p> <p>○ 海外販路拡大事業での成立した商談内容を具体的に教えてください。</p>
	回答	<p>【担当課】商工課</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業においては、3件の商談成約があり、いずれも市内企業の水産加工品がベトナムに1件、フィリピンに2件成約しております。

No.	内 容	
3	質問	<p>【掲載箇所】3～4ページ</p> <p>○ 「八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業」の令和4年度以降の事業展開を教えてください。</p>
	回答	<p>【担当課】広報統計課</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年12月から運営しているLINEアカウント「八戸圏域スクラム8」において、圏域の旬の食やイベント等の地域情報、首都圏の物産イベントや8 baseの情報を提供していきます。また、八戸圏域の食材を利用している首都圏の飲食店や8 baseで扱っている商品の取材をし、発信していきます。 <p>【担当課】観光課</p> <p>【八戸都市圏交流プラザ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八戸圏域の食材を活用した飲食メニューの提供や地場産品の販売により、八戸圏域産品の認知度を高め、販路拡大を図るとともに、八戸圏域のファンづくりのため、八戸圏域に所縁のあるゲストを招聘しての交流会を継続して開催してまいります。 また、新型コロナウイルスの影響により、これまで十分なプロモーションが実施できなかったことから、令和4年度においては、8 baseを拠点に八戸圏域のプロモーションイベントを開催するほか、メディアを活用したプロモーションを行い、首都圏における八戸圏域及び八戸都市圏交流プラザ8 baseの認知度向上に取り組んでまいります。 このほか、八戸圏域内の事業者による8 baseでの各種イベントの開催を支援し、首都圏交流拠点としての利活用促進を図ってまいります。 <p>【八戸圏域版DMO「VISITはちのへ」連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 baseと首都圏における八戸圏域関連飲食店において「食のまち・八戸」をテーマとしたプロモーション事業を実施し、首都圏における八戸圏域の食の魅力の発信に努めるほか、コロナ禍においてオンラインショップの重要性が高まっていることから、専門家のアドバイスを受けながら、オンラインショップを活用した、より効果的な地場産品の紹介・販売に取り組むこととしております。 インバウンド事業については、民間事業者が提供する多言語情報サービスも活用し、これまで以上に多くの外国語に対応したウェブサイトを整備し、インバウンドの受入体制の強化を図ることとしております。 <p>【担当課】商工課</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、ASEAN向け事業ではシンガポールの市場調査や国際食品商談会への出展、北米向け事業では現地小売店でのテスト販売や見本市出展等を実施する予定としております。 次年度以降につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向やコンテナ貨物等の物流状況を見極めつつ、更なる販路開拓及び八戸圏域地場産品の認知度向上のため、事業展開について検討してまいります。

●意見

意見なし

○No.2 八戸スポーツビジネス創生事業について

●質 問

質問なし

●意 見

No.	内 容	
4	意見	<p>【掲載箇所】7ページ</p> <p>○ 本交付金事業対象スポーツ施設の新型コロナ感染症対策での活用実績も地方創生効果の一面として追記したほうがよい。</p>
	回答	<p>【担当課】政策推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策でのスポーツ施設の活用実績として、長根屋内スケート場において、ワクチンの集団接種を行ったほか、民間のPCRセンターが設置されたことなどが挙げられます。 ・ 一方、新型コロナウイルス感染症対策関連事業は、国の地方創生臨時交付金等の財源を中心に充当しており、本日御審議いただいております地方創生関係交付金を活用した事業には含まれない事業であることから、資料中への記載は控えさせていただきます。

○No.3 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業について

●質 問

質問なし

●意 見

意見なし

○No.4 はちのへ空き家再生事業について

●質 問

質問なし

●意 見

5	意見	<p>【掲載箇所】13ページ</p> <p>○ 特定空き家や住宅の属人性変更などの対策も効果を後押ししていると思われる。今後の戦略として小学校に近接した地区の空き家が有効と考える。</p>
	回答	<p>【担当課】市街地整備課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校周辺の空き家は、子育て世帯にPRすることで利活用が見込める可能性があると考えております。 ・ いただいた御意見を参考に、空き家の立地状況や間取り等を踏まえ、適切なターゲットにPRするなど、空き家が利活用されるよう、取り組んでまいります。

○No.5 はちのハマチナカ活性化プロジェクトについて

●質 問

6	質問	<p>【掲載箇所】15ページ</p> <p>○ 公募による市民との協働事業とは？</p>
	回答	<p>【担当課】八戸ポータルミュージアム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や社会で抱えている様々な課題の解決を目指し、市民とはちが協力して課題解決へ向けた取組を行うものです。補助金等の交付にとどまらず、提案者とはちがお互いパートナーとして協働で取り組むことが特徴です。 ・ 昨年度は、学校になじめない学生や若者が、学校以外の場所で「働く」につながる学びの場を作り、社会とのつながりをつくる「DropIn事業」と、八戸高等支援学校の生徒が運営するカフェと子育て中のママ等が連携し、商品開発等を通じて中心街の活性化や子育て中のママの社会参画等につなげる「Café854×Cdm8（カフェ854かけるコドモイト）事業」の2事業を実施いたしました。
7	質問	<p>【掲載箇所】15～16ページ</p> <p>○ 実施された事業の費用対効果について率直な考えと、それを踏まえた今後の活動について教えていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当課】八戸ポータルミュージアム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、85日間休館等により活動が制限された影響は大きく、はち市などの集客を見込める主催事業の中止や、中心街のホコテン、七夕、三社大祭、えんぶり等の行事の中止は来館者数にも大きく影響し、昨年度は令和元年度から約32万人減少し、約50万人となったところです。 ・ そうした中で、感染対策を実施たうえで行ったイベントやワークショップには、一定の参加者があり、当市の文化振興に貢献できたものと考えております。 ・ 今後は令和3年3月に策定した中期運営方針に基づき、引き続き賑わいの創出や観光と地域文化の創造に取り組むこととしておりますが、単に人を施設に呼び込むのではなく、様々な人々の交流機会の創出や、担い手の育成に力を入れ、自主事業に取り組んでまいります。
	回答	<p>【担当課】美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の要請により、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年1月20日から3月21日の期間を臨時休館としましたが、開館記念「ギフト、ギフト、」は市内外から13,000人を超える方々に観覧いただいたほか、新聞やテレビ、雑誌、ウェブ記事など多くのメディアに取り上げられ、一定の効果はあったと考えております。 ・ 美術館の成果は、観覧者数や収入だけではなく、人材育成や教育など長期的視点で捉える必要があることから、「アートの学び」を特徴とする美術館としての事業展開を図ってまいります。

●意 見

意見なし

○No.6 八戸AIデータワーク推進事業について

●質 問

質問なし

●意 見

8	意見	<p>【掲載箇所】19ページ</p> <p>○ AIアノテーションの時給が一定の生活水準を満たす雇用になっているか懸念される。</p>
	回答	<p>【担当課】産業労政課</p> <p>・ 当補助金を活用している事業者は、就労継続支援A型※事業所であり、AIアノテーションにおいても一般的な当該事業所と同様の賃金水準となっております。</p> <p>※就労継続支援A型：障がいや難病のある方が、雇用契約を結んだうえで一定の支援がある職場で働くことができる福祉サービス。障害者総合支援法に基づく福祉サービスのひとつ。</p>

○No.7 蕪島エントランス整備事業について

●質 問

No.	内 容	
9	質問	<p>【掲載箇所】21ページ</p> <p>○ R2年よりR3年の方が観光客1人当たりの売上げが良かったわけですが、要因は何だと思えますか。また、現場目線で収益につながる取組や工夫等がありましたら教えてください。</p>
	回答	<p>【担当課】観光課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は、ソフトクリームをはじめとする新商品の販売により、飲食の売上が伸びたことが要因と考えられます。 ・ 収益につながる取組としては、観光客目線で求められる商品を取り揃えるように工夫しています。例えば、蕪島の国天然記念物指定100周年を盛り上げるため、市内3事業者と共同でウミネコの親子をかたどったクッキー「うみねころりん」を開発し、現在販売しています。 ・ また、年末年始の定休日に、初詣客の来館を見込んで営業したり、館鼻の朝市にあわせて、営業開始時間を早めるなどの取組を行っています。 ・ このほか、令和3年3月にポケモンマンホールを蕪島に設置したことを受けて、ポケモングッズの販売を予定しています。

●意 見

意見なし

○No.8 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業について

●質 問

質問なし

●意 見

No.	内 容	
10	意見	<p>【掲載箇所】23ページ</p> <p>○ 施設設備の充実は、公式戦や様々な興行を誘致するうえで必須条件であり、経済効果への期待へとつながる。子どもやおとなが地元において楽しめるスポーツ教室や各種興行開催に向け、今後も整備を続けて欲しい。</p>
	回答	<p>【担当課】スポーツ振興課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リーグスタジアム基準を満たすために整備した多賀多目的運動場天然芝球技場のスタジアム照明は、委員の御意見にもあるように、スポーツ教室や各種興行等、サッカー以外にも多用途な活用が可能となることから、地域経済の活性化に資するものと理解しております。 ・ 市内スポーツ施設の必要な整備につきましては、引き続き推進してまいります。

○No.9 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興について

●質 問

No.	内 容	
11	質問	<p>【掲載箇所】25ページ</p> <p>○ 市営魚菜小売市場のリニューアルに関連して、地区の商店街の再生、振興や観光機能の充実などの構想や計画があれば教えてください。</p>
	回答	<p>【担当課】まちづくり推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営魚菜小売市場を含む陸奥湊駅前の市場街については、地元のまちづくり団体と連携して、魚の町を基本としながら飲食・物販等観光面を意識した新たな機能を導入することで、市民に愛され地域住民にとって誇りが持てる商店街として、また、観光客にとっては水産都市である八戸らしい魅カスポットとなることを目指しております。 ・ 現在はまちづくり会社であるみちのくみなと未来株式会社が、具体的な民間市場の再整備の形と、陸奥湊駅前エリアとしての活性化方策について検討しているところです。

●意 見

No.	内 容	
12	意見	<p>【掲載箇所】25ページ</p> <p>○ 車での来場者の利便性向上に向けて、魚菜市场周辺の駐車場とがんこおやじ前交差点の信号機等の整備も検討必要。</p>
	回答	<p>【担当課】まちづくり推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚菜市场に限らず、市場街を車で訪れる方への対応として駐車場が課題であることは、エリアマネジメントを担う組織であるまちづくり会社とも認識を共有しており、周辺に点在する民間駐車場をどのように活用し利便性を高めるか検討を始めているところです。 ・ 信号機等の整備は、まちづくりの構想を進める中で整備の必要が考えられる時は警察や県と協議してまいります。